

100歳おめでとうございます

5、6月に満100歳を迎えた皆さんに、市長からのお祝い状とお祝い金が贈られました。



浪崎 サトシさん
大正7年5月25日生

田上 ヨシ子さん
大正7年6月13日生

地域で交流
杉並台ぽっかぽかフェスタ

6月2日、杉並台にある高齢者の居場所づくりの家友・遊・悠で、ぽっかぽかフェスタが開催されました。これは、地域住民の交流などを目的にぽっかぽか杉並台が主催している祭りで、当日は住民の皆さんによる鶏の炭火焼きやかき氷、ポップコーンなどの出店が並びました。また、マジックショーや大正琴のコンサートなども行なわれ、親子連れから高齢者までたくさんの人でにぎわいました。



温かい雰囲気の中、地域住民が交流を深めました

地方自治の発展に尽力
高齢者叙勲 旭日単光章を受章

5月17日、合志庁舎で元合志町議会議員の村田幸雄さん(出分)に勲記・勲章の伝達を行ないました。

村田さんは、昭和45年3月に地域住民の推薦を得て合志町議会議員に初当選。以来平成2年3月までの間、4期16年の永きにわたり在職。議会の円滑な運営に尽力するとともに地方自治の進展に大いに寄与したことが認められ、高齢者叙勲として旭日単光章が授与されました。



伝達式には村田さんのご家族(中央)が代理出席しました

地域住民の手作り
上庄ホテル祭り&イルミネーション

5月26日から6月2日にかけて、上庄魅力化推進委員会(青木建二委員長)主催による上庄ホテル祭りが開催されました。竹迫城跡公園周辺には夜店が並び、寛永堀橋を中心に、イルミネーションも点灯。ホテルが水辺を乱舞する幻想的な景色に誘われ、たくさんの人が訪れました。

上庄地区は長年、川の清掃に取り組むなど、ホテルが生息する自然環境を守り続けています。



地域住民で作り上げた寛永堀のイルミネーション

日本ユニシス株式会社
地域社会発展のための包括連携協定締結

4月26日、日本ユニシス株式会社(平岡昭良代表取締役社長)と市は、お互いの人的・知的資源を積極的に活用した市民の健康増進、地域産業の活性化など地域社会の発展を目的とした包括連携協定を締結しました。

同日、合志庁舎で調印式を行ない、出席した同社の橋本博文執行役員は「新しいサービスを作り出す企業として貢献したい」とあいさつしました。



これから市の発展へ向けて連携していきます

株式会社ヒューマンと
企業立地協定を締結

5月15日、株式会社ヒューマン(工藤正也代表取締役)と市は工場建設に関する協定を締結しました。

同社はセミコンテクノパーク内の所有地(福原)に新たに工場を増設し、半導体関連製品などの組立製造能力の増強を目指していきます。2億5千万円の設備投資と30人の新規雇用を予定しており、活気づく半導体業界において、同社の更なる成長と地域経済の活性化が期待されます。



署名後、握手する荒木市長(左)と工藤代表取締役

合志市から世界へ羽ばたく
各国代表ひしめく中で準優勝

4月25日から29日にかけてイタリアで開催された、第3回デッレナツィオーネトーナメントに16歳以下のサッカー日本女子代表として本市出身の徳永雅さんが出場しました。日本チームは世界各国から代表が集まるこの大会で見事準優勝。

守備的なポジションで出場した徳永さんは「とても悔しい。今日の負けを忘れず、練習して次は負けないようにしたい」と目標を語りました。



下段真ん中が徳永さん(背番号2)

民生委員制度が
創設100周年を迎えました

5月15日、県立劇場コンサートホールで民生委員制度創設100周年記念大会が開催されました。

これは、熊本出身で民生委員の父と仰がれる林市藏さんが現在の民生委員制度の前身となる方面委員制度を創設してから100年を記念したものです。県下から民生委員ら約1800人が参加。これからの民生委員・児童委員の使命と役割について考える講演やシンポジウムを聞き、さらに意識を高めました。



本市からは32人の民生委員・児童委員の皆さんが参加しました